



## 2023年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2023年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日～2023年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	8,415	1.6	879	7.0	881	5.1	675	9.0
2022年5月期第3四半期	8,552		945	69.6	929	61.4	619	45.1

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 686百万円 (15.2%) 2022年5月期第3四半期 596百万円 (62.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	143.30	
2022年5月期第3四半期	125.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	11,411	6,120	52.9
2022年5月期	11,415	5,458	47.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 6,038百万円 2022年5月期 5,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		5.00	5.00
2023年5月期		0.00			
2023年5月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,064	6.8	916	59.9	921	60.4	690		146.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Great Pretenders製作委員会
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期3Q	5,055,400 株	2022年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	2023年5月期3Q	341,115 株	2022年5月期	341,033 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期3Q	4,714,343 株	2022年5月期3Q	4,946,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者数は増減を繰り返していますが、経済活動は徐々に正常化が進み緩やかな回復傾向となりました。一方、原材料やエネルギー価格の高騰による物価上昇で個人消費は伸び悩んでおり、また、東欧や東アジアでの地政学リスクの高まりや欧米の政策金利の上昇、為替相場の急激な変動などにより、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,415,640千円(前年同期比1.6%減)、経常利益は881,958千円(前年同期比5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は675,580千円(前年同期比9.0%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「天国大魔境」等、配信用アニメーション「火狩りの王」「ULTRAMAN」Final Season、劇場用アニメーション「らくだい魔女 フウカと闇の魔女」等、その他ゲーム用等のアニメーションを納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化や外部クリエイターへの支払額が高騰しており、制作赤字となっております。

以上により、当事業の売上高は4,672,881千円(前年同期比2.2%増)、営業利益は155,000千円(前年同期は33,523千円の営業損失)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 18巻」「リンカーネーションの花弁 17巻」「転生貴族の異世界冒険録 9巻」等、定期月刊誌9点、並びに新刊コミックス・書籍80点を刊行しました。また、既刊コミックスの「リンカーネーションの花弁」「魔道具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～」は、特に販売好調でありました。電子書籍売上の成長率は鈍化しましたが、前年同期比17%増と堅調に推移し、相対的に減少している書店流通向けの売上高をカバーしております。また、欧米をはじめとする海外翻訳出版の売上は前年同期比70%増と大幅に売上を伸ばしています。

以上により、当事業の売上高は2,185,171千円(前年同期比12.1%増)、営業利益は506,407千円(前年同期比2.0%減)となりました。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「SPY × FAMILY」「進撃の巨人」「攻殻機動隊」「ハイキュー!!」「銀河英雄伝説 Die Neue These」「アオアシ」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

「SPY × FAMILY」は大ヒットとなり、テレビ放送後も国内外でライセンスの売上が好調に推移しております。

前年同期は当社グループが大きな出資割合を持つ作品群のライセンス収入が著作権事業の収益に大きく影響を与えました。これらが落ち着いたことにより、前年同期と比較して売上高は減少し、また、出資分の減価償却費も減少しました。

以上により、当事業の売上高は1,318,462千円(前年同期比26.7%減)、営業利益は292,118千円(前年同期比48.4%減)となりました。

#### ④ その他

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品化、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は239,123千円(前年同期比2.6%増)となり、営業利益は17,006千円(前年同期は23,883千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,498千円減少し11,411,948千円となりました。主な要因はコンテンツ資産が183,091千円、建物及び構築物（純額）が93,185千円増加し、一方、映像マスターが425,269千円、受取手形、売掛金及び契約資産が160,518千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ665,894千円減少し5,291,372千円となりました。主な要因は賞与引当金が67,041千円増加し、一方、未払法人税等が404,280千円、受注損失引当金が176,922千円、未払金が125,339千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ662,396千円増加し6,120,576千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いにより利益剰余金が651,464千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、出版事業及び著作権事業の収益が予想より上振れたことにより2023年1月13日に公表しました連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日(2023年4月14日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,305,362	5,344,169
受取手形、売掛金及び契約資産	3,272,864	3,112,345
商品及び製品	122,421	129,150
仕掛品	7,671	30,803
貯蔵品	8,773	9,481
前渡金	30,573	35,364
その他	211,255	354,817
貸倒引当金	△498	△188
流動資産合計	8,958,421	9,015,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	388,504	481,690
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	668,602	243,333
その他（純額）	67,584	156,500
有形固定資産合計	1,775,941	1,532,773
無形固定資産		
コンテンツ資産	12,993	196,084
その他	23,196	25,792
無形固定資産合計	36,189	221,877
投資その他の資産		
投資有価証券	252,651	246,270
その他	392,242	395,083
投資その他の資産合計	644,894	641,353
固定資産合計	2,457,025	2,396,004
資産合計	11,415,446	11,411,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	760,074	777,418
未払金	348,362	223,022
未払印税	804,597	753,733
未払法人税等	477,461	73,180
前受金	1,630,220	1,708,264
預り金	655,850	568,031
賞与引当金	—	67,041
役員賞与引当金	70,070	13,806
受注損失引当金	323,481	146,558
株式給付引当金	—	59,682
その他	379,929	418,969
流動負債合計	5,450,046	4,809,709
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
株式給付引当金	63,336	—
退職給付に係る負債	89,535	91,851
役員退職慰労引当金	76,299	83,790
その他	78,050	106,020
固定負債合計	507,220	481,662
負債合計	5,957,266	5,291,372
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,186,440	2,186,440
利益剰余金	2,946,214	3,597,678
自己株式	△535,876	△536,032
株主資本合計	5,378,279	6,029,587
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,051	8,957
その他の包括利益累計額合計	△1,051	8,957
非支配株主持分	80,952	82,031
純資産合計	5,458,180	6,120,576
負債純資産合計	11,415,446	11,411,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	8,552,550	8,415,640
売上原価	6,558,295	6,302,185
売上総利益	1,994,254	2,113,454
販売費及び一般管理費	1,048,542	1,233,546
営業利益	945,712	879,908
営業外収益		
受取利息	286	443
持分法による投資利益	—	7,412
受取賃貸料	15,169	16,038
受取手数料	—	11,160
補助金収入	640	3,405
その他	2,557	8,607
営業外収益合計	18,653	47,067
営業外費用		
支払利息	401	448
為替差損	558	1,319
賃貸収入原価	8,210	32,409
知的財産関連費用	3,503	—
投資事業組合運用損	2,590	2,589
持分法による投資損失	19,606	—
その他	143	8,249
営業外費用合計	35,013	45,017
経常利益	929,352	881,958
特別損失		
減損損失	28,015	—
特別損失合計	28,015	—
税金等調整前四半期純利益	901,336	881,958
法人税、住民税及び事業税	304,520	190,960
法人税等調整額	2,856	14,338
法人税等合計	307,377	205,298
四半期純利益	593,959	676,659
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,979	1,078
親会社株主に帰属する四半期純利益	619,939	675,580



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	593,959	676,659
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,280	10,009
その他の包括利益合計	2,280	10,009
四半期包括利益	596,239	686,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,219	685,589
非支配株主に係る四半期包括利益	△25,979	1,078

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	2,889,983	—	—	2,889,983	—	2,889,983
劇場用のアニメ映像制作	1,052,938	—	—	1,052,938	—	1,052,938
その他のアニメ映像制作	533,393	—	—	533,393	—	533,393
コミック・書籍の出版販売	—	539,966	—	539,966	—	539,966
電子書籍の販売	—	1,408,654	—	1,408,654	—	1,408,654
映像コンテンツの著作権料	—	—	1,128,321	1,128,321	—	1,128,321
出版物に係る原作印税収入	—	—	119,033	119,033	—	119,033
その他	96,642	—	40,283	136,926	233,151	370,077
顧客との契約から生じる収益	4,572,958	1,948,620	1,287,638	7,809,218	233,151	8,042,369
その他の収益	—	—	510,180	510,180	—	510,180
外部顧客への売上高	4,572,958	1,948,620	1,797,819	8,319,399	233,151	8,552,550
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,572,958	1,948,620	1,797,819	8,319,399	233,151	8,552,550
セグメント利益又は損失 (△)	△33,523	516,627	566,439	1,049,543	△23,883	1,025,660

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,049,543
「その他」の区分の損失(△)	△23,883
全社費用(注)	△79,947
四半期連結損益計算書の営業利益	945,712

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失28,015千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2023年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	3,599,116	—	—	3,599,116	—	3,599,116
劇場用のアニメ映像制作	718,034	—	—	718,034	—	718,034
その他のアニメ映像制作	277,029	—	—	277,029	—	277,029
コミック・書籍の出版販売	—	433,369	—	433,369	—	433,369
電子書籍の販売	—	1,409,037	—	1,409,037	—	1,409,037
映像コンテンツの著作権料	—	—	579,475	579,475	—	579,475
出版物に係る原作印税収入	—	—	175,592	175,592	—	175,592
その他	78,701	342,764	31,967	453,433	239,123	692,557
顧客との契約から生じる収益	4,672,881	2,185,171	787,035	7,645,089	239,123	7,884,212
その他の収益	—	—	531,427	531,427	—	531,427
外部顧客への売上高	4,672,881	2,185,171	1,318,462	8,176,516	239,123	8,415,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,672,881	2,185,171	1,318,462	8,176,516	239,123	8,415,640
セグメント利益	155,000	506,407	292,118	953,526	17,006	970,533

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	953,526
「その他」の区分の利益	17,006
全社費用（注）	△90,625
四半期連結損益計算書の営業利益	879,908

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。